

高校野球における丸刈りの担う役割について

松本 龍堂 (競技スポーツ学科・コーチングコース)

担当教員 植田 実

キーワード 高校野球、丸刈り、教育

I 緒言

現在、日本の高校野球では丸刈りが一般的となっている。なぜ高校野球においてのみ丸刈りが一般的となり、また高校野球においてどのような役割を担っているのかという疑問を持ったことが本研究を始める動機である。本研究の目的は高校野球において丸刈りがなぜ一般的になっているのか、どのような役割を担っているのかを明らかにすることである。

II 方法

研究方法はインタビュー形式。対象は高校野球の監督（平成 22 年 10 月現在）9 名とする。インタビュー内容をいくつかの観点に分類し、グラフ・表にして結果をまとめる。

III 結果

9 人の高校野球の指導者にインタビューをした結果、「精神的役割」、「経済的役割」、「衛生的役割」、「教育的役割」、「社会的役割」の 5 つの役割に分類した。また、別に学生野球の歴史的な背景が現在の高校野球の丸刈りに大きく影響し、丸刈りを一般的なものになっているという考え方が存在する。その「歴史的背景」を含めインタビューの結果を 6 つに分類したものが次の図 1 である。

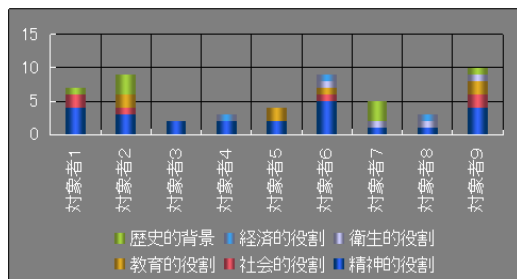


図 1

IV 考察

精神的役割には丸刈りにすることで生まれ

る「覚悟」・「団結力」・「集団心理」、社会的役割には「高校野球＝教育」・「高校生の模範」であることの象徴、教育的役割には「自律すること」「チームのルールを守る」などの役割がある。また、軍国主義の影響、日本人特有の頭髪への思い入れなどが丸刈りの一般的となっている要因である。

V 結論

今回の研究で高校野球の丸刈りには様々な役割があり、その役割が社会、指導者、選手に働いていることが明らかとなった。丸刈りにすることはチーム力を向上させるため、また生徒を人間として成長させるために有効な手段であると言える。

しかし、一方では「丸刈り教育」と呼ばれるように生徒の個性、人権を尊重していないという意見もあるため、丸刈りにすることの意味を正しく理解し、指導できる人材が今後の高校野球の現場に必要とされている。

参考文献

- ・朝西知徳（1996）『高校野球における丸刈りが選手の心理および打撃成績に及ぼす影響』
- ・岩本隆茂・和田博美（2006）『行動心理学』P15～16 頸草書房
- ・江刺正吾・小椋博（1994）『高校野球の社会学』P170～171 世界思想社